

平成 28 年 12 月 23 日

関係機関の長 各位

東京女子医科大学
学長 吉岡 俊正

消化器外科学講座（消化管分野）教授 候補者の公募について

謹啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本学医学部では、消化器外科（消化管分野）教授を選考することになりました。今回公募します教授には、本学消化器外科学講座の講座主任を務める山本雅一教授のもとで、消化管分野を担当して頂くこととなります。

つきましては、消化器外科、特に消化管分野に造詣が深く、社会に貢献する女性医師を育成するという本学の建学の精神に則り、教育、研究、診療を推進できる方を公募致します。

本学の建学の精神に則り、業績および人物の評価において同等と認められた場合は女性を積極的に登用する方針です。貴施設ならびに関連機関に候補者として適任者がおられましたら、ご周知賜りますようお願い申し上げます。応募に際しては、下記に示す所定の書類を添付してください。また、候補者の方には選考過程で、ご来学の上、面接、講演をお願いする場合がありますこと、ご承知おきください。

敬白

教授公募要件

- ・ 日本外科学会と日本消化器外科学会の指導医を取得していること。
- ・ 消化器外科（消化管分野）における豊富な手術実績があること。
- ・ 人格的に優れ、組織マネージメント力があり、チーム医療を牽引できる方。
- ・ 本学の理念である「至誠と愛」を理解し、女性医師の育成や女性の働きやすい職場環境を構築できること。
- ・ 医療安全に関してAまたはBを満たす方（応募の段階で満たない場合は、就任後、1年以内に満たせばよいこととします）。

A：医療安全対策室において24日間以上実務者として勤務(週1日で6ヶ月間等も可)

B：リスクマネージャー1年以上の経験

- ・ 査読付自著論文15編以上または自著論文の最新（Journal Citation Reports(JCR)2015年度版）のインパクトファクター合計が15以上であること。15編のうち、4編以上は英文論文であり、さらに1編以上は同インパクトファクターが0.5以上であること、または4編以上は同インパクトファクター0.5以上の英文論文であること。

※自著論文とは本人がfirst authorになっている論文、またはcorresponding authorの論文を指す。

- ・ 教育歴(5年以上)、研究歴(10年以上)、診療歴(10年以上)を満たすこと。

記

1. 提出書類（別紙 1、「必要な書類」参照）

- | | |
|----------------|------|
| ①履歴書 | 1 部 |
| ②業績目録 | 1 部 |
| ③主要論文、別刷 | 10 編 |
| ④主要論文 10 編の説明書 | 1 部 |
| ⑤診療実績録 | 1 部 |
| ⑥自己評価書 | 1 部 |
| ⑦推薦書（5 通まで） | |

⑧推薦者一覧

（注意事項）

- ・提出書類は、必要に応じてクリップ留めとし、針の有無に係わらずステープラー（ホッチキス）等は使用しないでください。
- ・③および⑦を除く、上記書類は電子ファイル（ワードあるいはエクセル）としても保存し、書類と共に USB メモリーまたは CD も一緒に同封してください。
- ・書留便などの履歴が残る方法で送付してください（持ち込みはお受けできませんので、ご注意ください）。
- ・提出書類および電子ファイルは返却致しませんが、応募情報の漏洩なきよう厳重に管理の上、選考終了後当方にて責任を持って処分を致します。

2. 締切期日：平成 29 年 1 月 31 日（火）必着

3. 提出先：〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学 学長宛

（「消化器外科（消化管分野） 教授 応募書類」と朱書きし、書留便などの履歴が残る方法で送付してください。）

4. お問い合わせ先：東京女子医科大学 学務部医学部学務課 電話 03-3353-8111（内線）22112

所定様式は本学ホームページ（HOME > 新着採用情報）からダウンロードしてください。

必要な書類

(1) 履歴書 (所定様式。写真貼付)

学歴、職歴、教育歴、研究歴、診療歴、学会活動、社会活動、受賞歴に分けて記載してください (相互に重複することは差し支えありません)。各履歴には、下記を明記してください。

- 1) 学歴：学位、留学を含む
- 2) 教育歴：卒前教育、卒後教育、大学院教育および学位論文指導、教育関係の委員などを含む
- 3) 研究歴：研究領域、研究テーマ、研究費取得状況 (研究代表と分担を分けて、タイトル・年度・金額を記載)、特許など
- 4) 診療歴：認定医・専門医・指導医 (番号、取得年)、救急診療従事状況 (1 週間の診療スケジュールを記載)、診療関係の院内委員 (保険委員、医療安全管理委員など)
- 5) 学会活動：所属学会名と入会年、学会役員、委員 (雑誌編集委員など)
- 6) 社会活動：患者教育・支援活動、社会における啓発や施策への協力など。
- 7) 受賞歴：学会活動、社会活動、学内活動などにおける受賞。

(2) 業績目録 別紙 (様式 2) により、記載してください。

(3) 主要論文、別刷 10 編

主要な原著論文 10 編をあげ、その 10 編の論文の別刷を各 1 部ずつ添付してください。

(4) 上記 (3) の主要な原著論文 10 編の論文について、論文名等を (2) 業績目録の形式で記載し (Impact Factor 含む)、各々の論文の独創的な点について 200 字以内の説明を記載してください。

(5) 診療実績録

診療実績の参考とするために病院に保管登録された診療録に基づき、診療実績を下記の項目に分けて記載してください。

1) 外来診療について (所属施設に限る)

2015 年 4 月より 2016 年 3 月までの 1 年間について診療科全体と応募者個人のデータを別紙 (様式 3-1) により、記入してください。

2) 手術について (所属施設、他)

候補者が過去 5 年間に術者または助手として参加された手術につき、過去 5 年間

(2011年～2015年)のNCD症例登録データプリントおよび、それを元に別紙(様式3-2)を記入し提出して下さい。また、併せて最近1年間(2015年4月から2016年3月)の手術記録のコピーを提出ください(患者氏名、登録番号等個人を識別できる情報はマスキングしてください)。なお、詳細確認のため麻酔記録等の提出を後日求めることがあります。

また特に記載すべき手術については新たにA4版1枚以内でお書きください。

3) 手術動画および概要説明書

直近1年以内の応募者本人が執刀した未編集の鏡視下消化管手術動画(1件分)を、コピープロテクトを付けずにPCで視聴できる形式でDVD(複数枚可)またはUSBでお送りください。

また、当該手術の概要説明書(A4で1枚程度)も記載してください。

(6) 自己評価書

教育、研究、診療、将来への抱負に関する自己評価書を具体的に記載してください。

(A4版を使用のこと)

- 1) 教育：学部教育としての講義、実習、少人数教育(チュートリアルなど)の経験および大学院生教育の経験と、その教育に対する考えを記載してください。特に、女子医学部生、女性医師の教育経験とその考えについても記載してください。(800字以内) また、卒前、卒後教育における年間の講義・実習の担当表も添付してください。
- 2) 研究：主な研究分野とその業績、今後の展望と抱負を記載してください。(800字以内)
- 3) 診療：実績、専門領域、特殊技能などを記載してください。(800字以内)
- 4) 将来への抱負：ご自由にお書きください。(800字以内)

(7) 推薦書

応募者との関係と交流期間を明示の上、教育、研究、診療に関する能力および人物についての評価を1,200字程度(A4用紙1枚目安)で記載していただいでください。

推薦人の依頼先は国内外を問いませんが、応募の締切期日に注意してください。推薦人は最大5名迄にしてください。

推薦書は記載者から直接、学長宛に期間内に御送付ください。なお、封書の表書きに朱書きにて「親展」と記載し、書留便などの履歴が残る方法で送付してください。

(8) 推薦者一覧

推薦者の氏名・所属・役職・住所を明記した一覧表を応募書類に加えてください。

以上